

Creative
Direction
CDF
of the Future

a for biz Case Study

α の導入で生産性と 顧客満足度を大幅に向上

常識を打破する新サービスの立ち上げにも成功



株式会社CDF

<https://www.cdf-office.co.jp>



2015年に創業し、主にブライダルフォト撮影、広告写真撮影を手がけてきた株式会社CDF。2020年には自らブライダル専用のリアルタイム写真共有サービス『シェアフォト』を立ち上げるなど、これからの時代を意識した既存の枠に収まらない事業を展開しています。そんなCDFがαを選んだ理由はなぜなのか？ 同社を率いる若き代表取締役 小林 弘幸様（以下、小林代表）と、30年のキャリアを誇るベテランフォトグラファーにして同社CTO（最高技術責任者）を務める小林 靖弘様（以下、小林CTO）にお話を伺いました。

キャリア30年のプロフェッショナルを魅了した αの高性能・多機能

まずはCDFがαを導入するに至った背景を教えてください。

小林
代表

αを導入した第一の理由は「生産性の向上」です。ブライダルの撮影は撮って終わりではなく、事務所に戻ってきた後にデータのバックアップを取る必要があり、当時、これが非常に大きな負担になっていたのです。1件あたり40分～1時間程度もかかってしまうのでスタッフの負担も大きいですし、会社としても残業代がかさんでしまいます。また、当時構想していた新サービスを実現するためにも、より撮影のフットワークを高めていく必要がありました。そんななか、撮影スタッフからソニーのカメラがすごいらしいと教えてもらったのがαを検討したきっかけです。



代表取締役
小林 弘幸 様

αのどういったところが気に入られましたか？

小林
代表

なによりもまずFTP転送機能ですね。撮影した写真を撮ったそばからWi-Fi経由で自社サーバーにアップロードできることに魅力を感じました。この機能を活用すれば撮影後のバックアップにかかる時間をなくせることに加え、社内で行う編集作業も撮影スタッフの帰社を待つことなく始められます。これによってお客様に写真を納品する期日を早めることもできるなど、従来になかったプラスアルファを生み出せるのではないかと考え、2020年1月に『α9 II』『α7R IV』『α7S II』の3台とレンズ9本をα法人窓口経由で購入させていただきました。

この判断について、撮影スタッフのリーダーである小林 CTO はどのように感じられましたか？ また、実際に α を使ってみていかがでしたか？

小林 CTO ブライダルの撮影を始めてから約 30 年間、ソニーのカメラを使ったことはなかったので、正直言って最初はかなり戸惑いました（笑）。ただ、実際に試してみて、すぐにその感想を改めましたね。『 $\alpha 9\text{ II}$ 』はスピード性能が素晴らしい、しかもブラックアウトしないのでフラワーシャワーやブーケトスのシーンで被写体を見失うことなく撮影できるのが画期的でした。高感度撮影を得意とする『 $\alpha 7S\text{ II}$ 』は夕刻以降の屋外撮影、特にガーデンウェディング（屋外で行うウェディングスタイル）などで活躍してくれます。また、CDF ではブライダル写真のほか、広告写真の撮影も手がけているのですが、そういった大きく引き伸ばして使うような写真では『 $\alpha 7R\text{ IV}$ 』の高画素が効いてきます。

そのうえで、全体に共通する特長として被写体を追い続けてくれるコンティニュアス AF や瞳 AF についても素晴らしい性能だと感じました。ライバル機と比べて非常にコンパクトなことも、私のように手が小さい人間にはとてもうれしいところ。CDF 所属フォトグラファーには女性も多いのですが、彼女たちからも α のコンパクトボディは好評ですね。また、カメラを向けられるお客様への圧迫感が小さいということもブライダル撮影においては重要なんですよ。

FTP 機能を実際に使ってみた感想も聞かせてください。他社製カメラにもこの機能を備えたものがありますが、それらと比較などは行いましたか？

小林 CTO 撮影したばかりの写真が即座に自社サーバーに送られ、撮影と並行して編集を行えるというのは驚くべき体験でした。これまでどんなに急いでも翌日以降の作業だったのがほぼリアルタイムになるわけですから。現場としても生産性が大きく向上したことはっきりと実感できています。

なお、他社製品にも FTP 機能を搭載したものがあることは理解しており、実は α 導入前に各社の製品を揃えて機能の比較を行っています。そうしたところ、当時の製品では対応している無線 LAN 規格の違いなどもあって α が圧倒的に速く感じ、設定のしやすさや対応機種の多さでも群を抜いていました。

α 導入で劇的に高まった生産性。

もう以前の環境にはもどれない

α 導入後、CDF の事業がどのように変わっていったのかを聞かせてください。

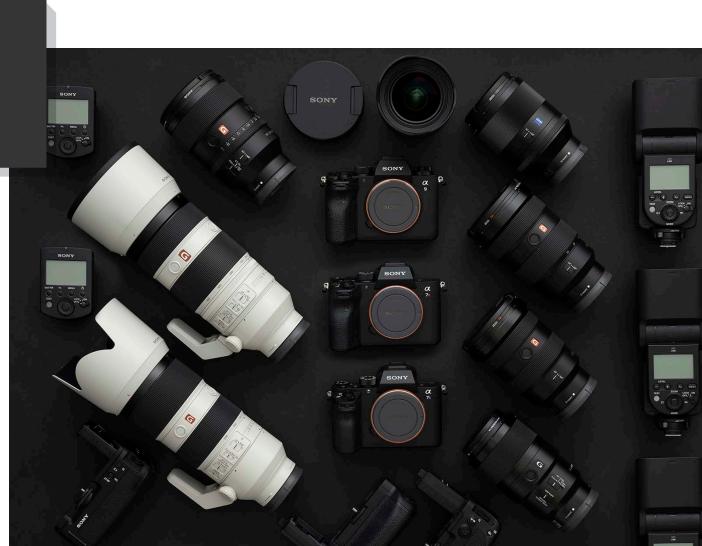
小林 代表 まず、写真の納期を短くすることができました。従来は 2 ~ 3 週間いただいていたのですが、 α 導入後はしっかりレタッチを施したデータを 1 週間でお届けできるようになっています。レタッチを施さないデータについてはほぼリアルタイムでお届けすることが可能です。

リアルタイムというのは式が終わったあとすぐということですか？

小林 代表 いえ、式の最中からご覧いただけます。そのために立ち上げたのが、冒頭でも触れた新サービス『シェアフォト』です（2020 年 12 月よりサービス開始）。このサービスは、 α で撮影し、FTP 機能で CDF のサーバーにアップロードされた写真がリアルタイムに登録されるようになっており、お手元のスマホなどから今撮ったばかりの写真を閲覧し、同時にダウンロード、保存して頂くことが可能な WEB アプリケーションです。



CTO(最高技術責任者)
小林 靖弘 様



それはすごい！ お客様の反応はいかがでしたか？

小林
代表

みなさん、今、撮られたばかりの写真が即座にアップロードされることに驚かれ、同時にとても喜んでくださいます。もちろん『シェアフォト』は式場にいる皆さまだけでなく、式に参加できなかったご親族・ご友人の方々にお使いいただけます。式場にいる方が忙しく写真をLINEなどのSNSに投稿する必要がなくなりますし、参加できなかった方もプロのフォトグラファーが撮影した高品位な写真をリアルタイムに見ることができ、まるで式に参加したかのような気分を味わうことができるんですよ。

これを実現するためにαが必要だったということなんですね。

小林
代表

その通りです。



そのほか、αの導入で生産性の向上が実現できたところはありますか？

小林
CTO

今回、カメラの刷新と合わせてフラッシュなどの周辺機器も刷新したのですが、こちらについてもワイヤレス化を図るなどして、作業効率を高めています。これによって特に広告写真撮影で設営や撤収、移動速度が高まり、小回りの効いた撮影ができるようになりました。また、これまで撮った写真をPCの画面に映し出してクライアントに確認してもらっていたのですが、これもより直観的に操作できるタブレットに変更して喜ばれています。今ではもうα以前の環境には戻れませんね（笑）。

今回、αを法人窓口経由でお買い上げいただきましたが、そこでのやり取りについて、印象に残っていることがありますからお聞かせください。

小林
代表

実は今回、αの購入に際してものづくり補助金を利用したのですが、そのために必要となる書類のサポートなどを丁寧かつ迅速に行っていただきました。また、納期に関してもとても親身に対応してくださいました。アフターフォローについても、とても満足しています。なお、今回の導入時には「αサポートパック」が存在しなかったため「αあんしんプログラム」に加入したのですが、今後さらにαを購入する際には、業務利用でも安心感があり、よりサポートの充実した「α法人サポートパック」を利用したいと考えています。

●リアルタイム写真共有サービス『シェアフォト』 <https://sharephoto-cdf.com>

使用機材紹介



デジタル一眼カメラ

α9 II

<https://www.sony.jp/ichigan/products/ILCE-9M2/>



デジタル一眼カメラ

α7R IV

<https://www.sony.jp/ichigan/products/ILCE-7RM4/>

取材:2021年10月

» [法人向け] カメラの商品情報やお客様事例をご覧いただけます。 <https://www.sony.jp/camera-biz/>

» 製品やサービスに関するお問い合わせ https://www.sony.jp/biz/inquiry/form_camera.html

ソニーマーケティング株式会社

法人のお客様向け購入相談デスク ☎ 0120-24-7688 スマートフォン・携帯電話・一部のIP電話からは 050-3754-9483

受付時間 / 10:00~18:00(土・日・祝日 休み)